



多様な業界での経験を活かした 小さな本屋さんを開店

今年4月、JR大曲駅前に小さな書店がオープンした。名前は「BAILEY BOOKS」。トラディショナルな深い緑のドアが印象的な店内に足を踏み入ると、運命的な本との出会いが待ち受ける世界が待っていた。

本を売る仕事に魅了され開店を決意

JR大曲駅前に、小さな書店をオープンさせたのは大仙市角間川出身の渋谷明子さん。盛岡で高校時代を過ごし、進学のために上京してから、10年以上を東京で過ごした。

「都会のほうが居心地が良いという時期があったんですが、5年ほど前に地元に戻ってきました。昔から好奇心が旺盛で、本を読むことが好きでした。自分でも文章を書きたいと思い、こちらに戻ってからフリーライターの道へ。本屋さんでアルバイトをすれば、いろいろな本と出会えて勉強になると考えたんです。すると、本を売る事自体がとても面白くて、これだ!と思い

ました。書店で1年ほどアルバイトを経験し、自分でお店を作ることを決意しました。」

本との出会いは、運命だと思う

JR大曲駅のすぐ近くに開店したのは、大曲の商店街の存在を知ってほしいという思いがあったから。「大曲の商店街には素敵なお店がいっぱいですが、観光客には上手く伝えられていない。その魅力に気づいてもらうためにも、まずは駅から道路を渡ってほしいと考え、この場所に決めました。隣には亡き父が生前通った床屋さんもあって、縁を感じたという理由もあります」。

店内は、テーマやキーワードによってゾーニングされ、さまざまなジャンルの本が陳列されている。「その時、その瞬間にふと手にした本との出会いは運命だと思います。ここに来れば、新しい本との出会いがあるかもしれない、と置いていただければうれしいです」。

新たに仲間入りした小さな書店が、大曲の町にどんな化学反応をもたらすのか。今後が楽しみだ。



BAILEY BOOKS

オーナー 渋谷 明子

〒014-0027
大仙市大曲通町2-24 1F左
TEL.090-5409-3354



BAILEY
BOOKS
instagram



(写真左) 英国風の設え。店名は大好きな映画の登場人物の名前から。



(写真右) オーナーの渋谷さんは食や美容にも詳しい。店内には資格も活かしたアロマ等も並ぶ。